

神奈川 ネット

Daily Life Is
a Matter of
Politics!

ネット・青葉リポート
NO.146号



神奈川ネットワーク運動・青葉
代表 三浦紀子

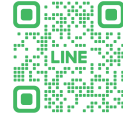


神奈川県議会議員
青木マキ

発行責任者
神奈川ネットワーク運動・青葉 代表 三浦紀子
2023年7月1日発行 発行部数30,000部
〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾1151-1-203
TEL 045-508-9475 fax045-508-9474



ネット・青葉
ホームページ



青木マキ
公式LINE



青木マキ
Facebook

5月15日、衆議院会館で行われたオンラインカジノに関する学習会で講演するギャンブル依存症問題を考える会代表田中紀子さん。ギャンブル依存症支援団体代表と、当事者の証言に会場内は静まり返りました。

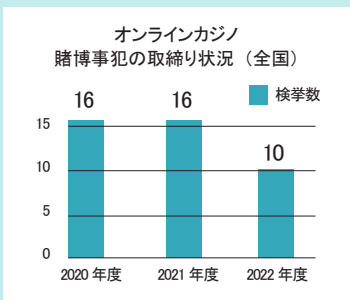


県警は、警察庁と消費者庁が連携して作成したオンラインカジノが違法であることを周知するポスター3000枚を用いて啓発を行なっているとのこと。しかし、掲示場所は警察署内や公的機関で、オンラインカジノを利用する可能性が高いターゲットの目に触れる機会は極めて低いと言わざるを得ません。まずは、SNSを中

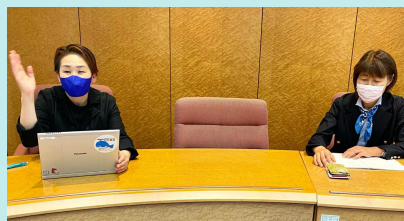
心としたオンライン上の啓発にも取り組むべきです。国に対しても一刻も早い法的な規制の強化を求めていく必要があります。
2024年度は、神奈川県ギャンブル等依存症対策推進計画も更新されます。この機をとらえて引き続き依存症対策強化を求めていきます。

神奈川県における賭博罪の摘発件数(2022年度)は8件ですが、オンラインカジノの摘発事例はありません。警察による取り締まりは、治安や風俗環境が乱れているか否かという観点で行うことが前提となっており、個人のネット上のやり取りにおける犯罪では摘発に向けた動きが進まないと言います。

神奈川県を取り組みは？



賭博の検挙件数 神奈川県・全国(2022年度 / 神奈川県警提供データ)



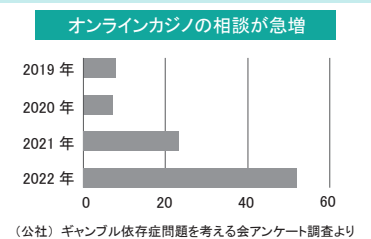
オンラインカジノの摘発状況について神奈川県警にヒアリング

オンラインカジノは違法ではないという誤った広告までなされ、誰もがオンラインカジノ利用者になる環境が整っています。ゲーム課金で多額の負債を抱える10代20代の若者の増加が問題になっている今、誰もが「依存症」リスクを抱えていることを認識しなければなりません。ギャンブル利用者に自己規制を求めるには限界があることは明白です。

違法なのに取り締まり困難

オンラインカジノは、違法であるにも関わらず、若者を中心に広がっています。コロナ禍でギャンブルに出かけられない人が、パソコンやスマートフォンから気軽にアクセスした結果、のめり込んでいくといった事例は後を絶ちません。

オンラインカジノ 規制強化が必要！



オンラインカジノ含まず	オンラインカジノ含む
748.5万円	880.5万円

N=396 うち借金額不明者、答えきれないと回答した者を除く
(公社) ギャンブル依存症問題を考える会 2022年度アンケート調査より

ここが問題！

- ・違法なのに検挙件数がぐくわずか。
- ・カジノを合法とする国の業者が運営しており、明確な立証手段がない。
- ・巧みに誘導するアフィリエイトサイト(*)や広告も事実上野放し状態。
- ・インターネットでアクセスしただけと言われたら取り締まりは難しい。

(*)アフィリエイトサイト(*)=成果報酬型広告。サイトに掲載した広告を経由して売上が発生すると、売上の一部を報酬として受け取れる。